

屋内信号装置

シルウォッチ作成者:(株)東京信友

取付説明書

1	はじめに	ページ
1-1	概要	2
1-2	工事をはじめる前に	3
2	シルウォッチのしくみ	
2-1	各部の名称と機能<<送信機>>	4
2-2	各部の名称と機能<<受信機>>	5
2-3	基本動作	6
2-4	各送信機とその役割	6
3	設置方法	
3-1	基本手順	7
3-2	音量・検出時間の調整方法	8
3-3	各送信器の設置方法	9
3-3-1	玄関用送信機<<ゲンカン>>	9
3-3-2	FAX用送信機<<ファックス>>	11
3-3-3	赤ちゃん(音声)用送信機<<コール>>	12
3-3-4	携帯電話用送信機<<ケイタイ>>	13
3-3-5	防犯警報用送信機<<ケイホウ>>	14
4	その他商品の設置について	15
	故障かなと思ったら・お問い合わせ	16

1. はじめに

1-1 【概要】

本システムは屋内におけるあらゆる情報を、電波を媒体として聴覚障害者等に伝達する屋内信号装置です。

送信器を情報発信元の動作に連動させ ID を送信します。信号を受信した腕時計型受信機がバイブレーションで振動し、送信内容を液晶部に表示します。

設置につきましても他社製品(ランプやフラッシュ)とは違い、特定小電力帯の無線を使用しておりますので、家中を配線だらけにする事なく非常に簡単な取り付けが可能です。また、インターホンへの設置も音声検出の場合はマイクによる取り付けに変更になりましたので、どなたでも簡単に付けることが出来るようになりました。

2種類の調節ツマミで簡単に調整出来るため、誤作動がほとんどありません！

電波法施行規則第6条に規定される特定小電力無線局のうち、電波を利用して遠隔地点における装置の機能を始動、変更又は終始させることを目的とする信号の伝送を行うテレコントロール用無線設備です。

電波法、無線設備規則に基づいた無線装置で、特定無線設備の技術基準適合証明に合格したものであるため、使用に当たっては、免許・資格などが不要です。

1-2 [工事をはじめる前に]

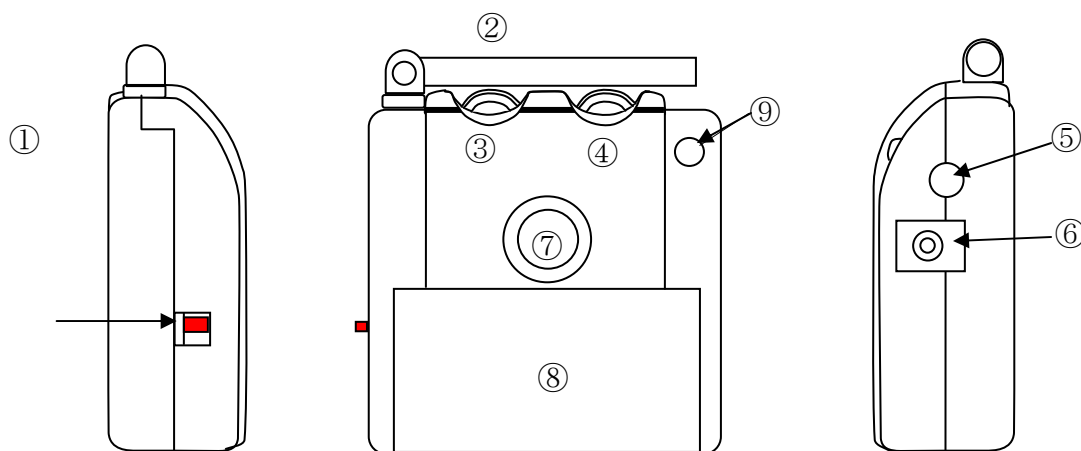
本製品には取り付け工具は含まれておりません。本製品を設置する際、工具や部品が必要になる場合がございますので、あらかじめ準備しておくといざという時便利です。

但し通常、FAX用・コール用・携帯電話用の送信器を設置する場合、道具は必要ありません。

名称	詳細	使用端末
ドライバー	状況に応じて使い分けができる程度の種類があると便利です。	チャイム(光タイプ)、各警報
ニッパー・カッター ラジオペンチ	配線・モールの切断、配線剥きなどに使用します。	チャイム (光タイプ)
モール ステップル等	配線を養生する場合に使用します。	チャイム 各警報
両面テープ	モールを固定する場合に使用します。	チャイム 各警報
絶縁テープ	配線を切断した際の養生に必要です。	チャイム
延長コード	コンセントが遠い時、お客様宅に使用できるものがない場合があります。	全種類
筆記用具	耳の不自由なユーザーが多いので、その場合は筆談や手話が必要になります。	

2. シルウォッチのしくみ

2-1 [〈送信機〉]

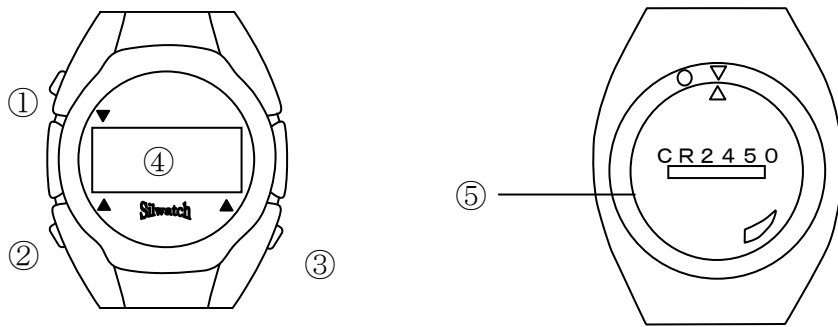


- ①電源スイッチ 使用時は電源スイッチをONにして下さい。
- ②送信用アンテナ 使用時は伸ばしてください。縮めたままですと本来の性能が出ない場合があります。
- ③検出時間調節ツマミ 外部信号の検出時間を調節することにより、誤作動を抑止できます。
(目盛が0ならば入力信号を感知せず、10ならば時間的に短い信号でも感知します)
- ④音量調節ツマミ 外部信号の入力レベルを調節することにより、誤動作を抑止できます。
(目盛が0ならば全ての信号に反応せず、10なら敏感に反応します)
- ⑤外部入力端子 それぞれの外部入力用端子に接続します。(必ず根元まで差し込んでください。)
- ⑥電源入力端子 付属の専用ACアダプターに接続します。(必ず根元まで差し込んでください。)
- ⑦呼出用スイッチ コール用送信器としてご使用いただけます。(どの送信器からでもすべて『コール』と表示されます)
- ⑧電池ボックス 電池でも動作可能です。ご家庭での使用にはACアダプターをお使いください。
- ⑨送信用LED 送信時に10秒間点滅します。
- 情報発信元毎に送信器1台が必要¹
 - 1つの送信器で2つの異なるIDを送信可能²
 - 音量調節ツマミ、検出時間調節ツマミを追加したことにより、入力に関係ないノイズを極限までカット
 - AC電源からの電力供給時はAC優先、供給が止まると自動的に電池電源に切り替え
 - 電池駆動で送信器を持ち運べるので、外出先での呼び出しにも使用可能

¹但し、信号受信の際同一表示でも構わない場合は、各情報発信源を1つの送信機にまとめて接続することにより送信器を共用することも出来ます。その場合、各送信機は有線で接続します。

²外部入力信号のほかに、送信機本体の送信スイッチを使用すると“呼び出し用送信機”としてご使用いただけます。外部入力信号で送信した場合と、送信機本体のスイッチ信号で送信した場合は、それぞれ異なるID信号を送信します。

2-2 [《受信機》] ※携帯型光受信器については、別紙取扱説明書をご覧ください。



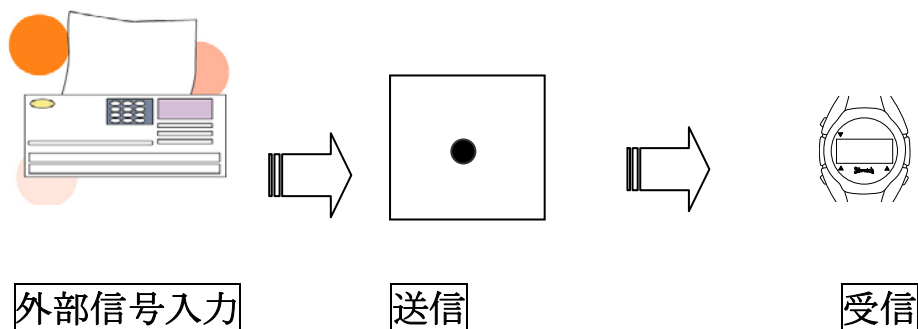
- ①BATTERYボタン 電池交換時期の目安がわかります。ボタンを押している間、腕時計が振動します。振動しない場合は新しい電池と交換して下さい。
- ②TIME ボタン 時刻合わせを開始する時にこのボタンを2秒間押し続けてください。
《時刻合わせモード》や《目覚まし合わせモード》の時は、“時間”を進めることができます。
- ③ALARM ボタン 目覚まし合わせを開始する時にこのボタンを2秒間押し続けてください。
《時刻合わせモード》や《目覚まし合わせモード》の時は、“分”を進めることができます。
- ④LCD 時計は表示と非表示を切り替えることができます。送信器からの信号を受信した時は、情報内容が表示されます。
- ⑤電池フタ 電池を簡単に交換できます。蓋を開ける時は、10円玉を使用し、押し込みながら回転させると開閉しやすくなります。
- 通常は腕時計³
 - 最大32種類の情報を判別可能
 - 受信可能距離は約170M(見通し)⁴
 - 電池蓋を変更することにより2種類の電池を使用可能
 - 目覚まし機能内蔵
 - 電池寿命⁵
 - CR2032 使用時⇒約60日(最大)
 - CR2450 使用時⇒約170日(最大)

³電池節約の為、時計表示は消しておくことをお勧めします。

⁴屋内等で送信器と受信器の間に障害物がある場合は、建物の構造や材質によって受信可能範囲は大きく変わります。

⁵時計非表示状態で1日5~6回受信動作にてお使いいただいた場合の目安です。目覚まし機能を使用された場合はさらに短くなります。

2-3 [基本動作]



1. 情報発信元(玄関チャイムやFAX機、携帯電話など)が動作します。
 2. 送信機が外部入力からの信号を検出すると送信動作を行い、LEDが10秒間点滅⁶します。(外部入力用IDを送信)
または、送信器本体の送信スイッチを0.1秒以上押すと送信動作(スイッチ用ID(コール)を送信)
 3. 受信機が信号を受信すると“5回振動”して“LCDに情報内容を文字で表示”します。
 4. 10秒後、通常の状態にもどります。ただし、警報用送信器の外部入力信号と目覚まし機能動作時は、受信器のTIMEボタンを2秒以上押し続け、振動を止めるまで15秒間隔で同動作を繰り返します。
- ### 2-4 [各送信器とその役割]

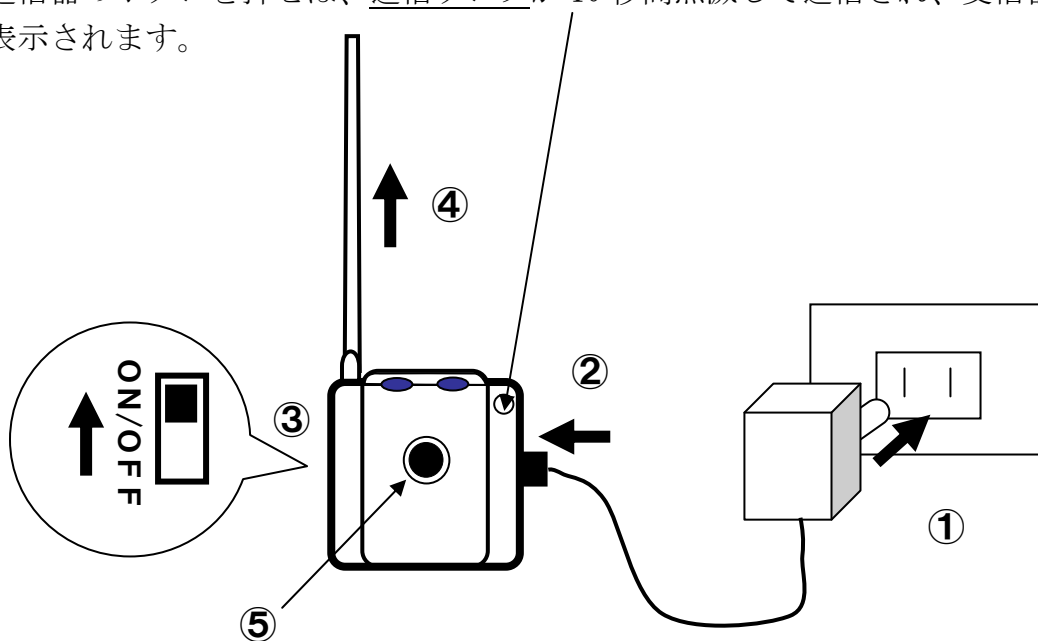
送信器の種類	内容説明	表示
玄関	既存のチャイムに接続し、来客を知らせます。	ゲンカン
ファックス	NTT回線にセンサーを接続し、FAXの着信をお知らせします。	ファックス
携帯電話	携帯電話の振動を感知します。	ケイタイ
警報	磁石式スイッチやシルタンちゃんの信号を感知します。	ケイホウ
あかちゃん	赤ちゃんの泣声を付属のマイクで感知し、お知らせします。	コール
全送信器	本体正面の送信スイッチを押すことにより、受信器を持っている人を呼び出すことができます。	コール

⁶実際に送信している時間は、1回の送信動作で4秒です。

3. 設置方法

3-1 [基本手順《全送信器共通》]

- ①電源コードをコンセントに差し込む。
- ②電源コードのプラグを送信器のDC9V入力端子に差し込みます。
- ③送信器の電源スイッチをON(上側)にする。
- ④アンテナを最大に伸ばす。
- ⑤送信器のボタンを押せば、送信ランプが10秒間点滅して送信され、受信器にコールと表示されます。



---設置の注意点---

- ☆ 送信器本体ならびにマイク、光センサー、付属コード等は電源コードやコンセントの近くには設置しないで下さい。また、付属のコードは束ねないで下さい。誤作動の原因になる可能性があります。

コール用ボタン《全送信器共通》

全ての送信器についている押しボタンは呼出用です。

呼出ボタンを使用する時は、調節ダイヤルは関係ありません。

電池(単 4×2)を使用すれば、外に持ち運んで使えます。病院や銀行での順番待ちも、もう安心です。受付に送信器を預け、順番がきたら押しもらいます。

3-2 [音量・検出時間の調整方法]

1. 設置手順に従い、動作の可能な状態にします。
2. 両方のつまみを目盛 8~9 にあわせ、実際に端末に連動して動作することを確認してください。
7
3. 情報発信元⁸を動作させ、**検出時間調整つまみ**を操作しながら、信号の検出が可能な限り絞り込みます。
4. 情報発信元を動作させ、**音量調整つまみ**を操作しながら、信号の検出が可能な限り絞り込みます。
5. 何度か動作確認をして1度でも動作しない場合は、各つまみをやや開放して微調整をしてください。確定後、1メモリ分上げておくと、より確実です。
確定したメモリを記録して、必ずお客様にお渡しください。

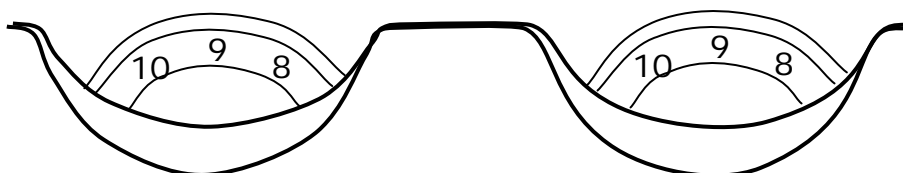
検出時間調整つまみ

目 盛	感 度
10	最良(瞬間的な信号にも反応)
5	中間(0.5秒以上の信号のみ反応)
0	感知不可

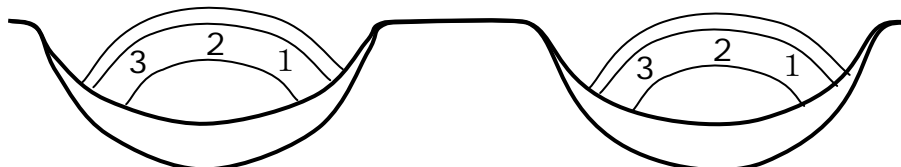
音量調整つまみ

目 盛	感 度
10	最良
5	中間
0	感知不可

《例》小さく短い(瞬間的な)音にも反応する調整



《例》長くて(約1秒)大きな音にのみ反応する調整



!!! 音量調節つまみや時間調節つまみの数値はあくまで目安です!!!

⁷音量目盛の10は、感度が良過ぎますので使用しないで下さい。また、0はまったく信号を受け付けませんのでご注意ください。(検出時間は0~10まで使用できます)

⁸ インターホン、ファクシミリ、携帯電話など、接続する側のことです。

3-3 [各送信機の設置方法]

3-3-1 [玄関用送信器《ゲンカン》]

送信器は基本的に屋内側のチャイムなどに接続します。

音の出る通常のインターホンはもちろん、回転灯やフラッシュタイプのチャイムにも連動できます。チャイムが無い場合は、接点式のスイッチだけでも動作可能です。

入っているもの

玄関用送信器本体・ACアダプター・平型マイク又は光センサー・両面テープ

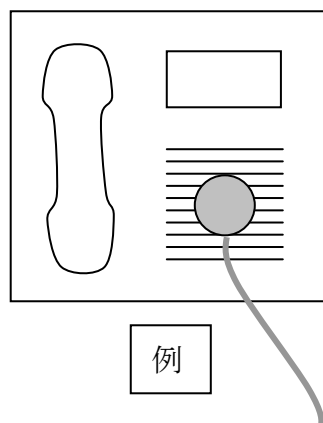
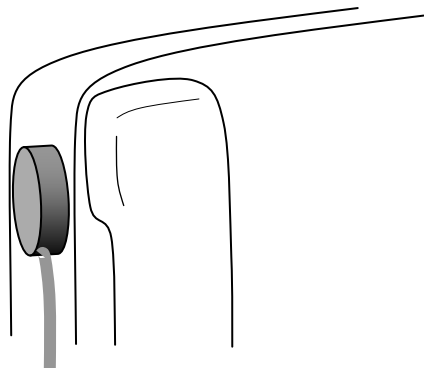
音声タイプの設置方法

【メモリ目安:時間 4~8、音量 4~8】

手順1 平型マイクを音の出る機器（インターホン、チャイム）に向け、出来る限り音の出る場所に貼り付けてください。

送信器用両面テープで壁・柱などに固定してください。

固定しなかったり、テーブルや電話台など振動しやすい家具に固定すると誤作動を起こします。また、ドアや襖の開閉の衝撃や振動の影響の受けない場所に設置してください。



出来る限り音の出ているところに貼り付けてください。

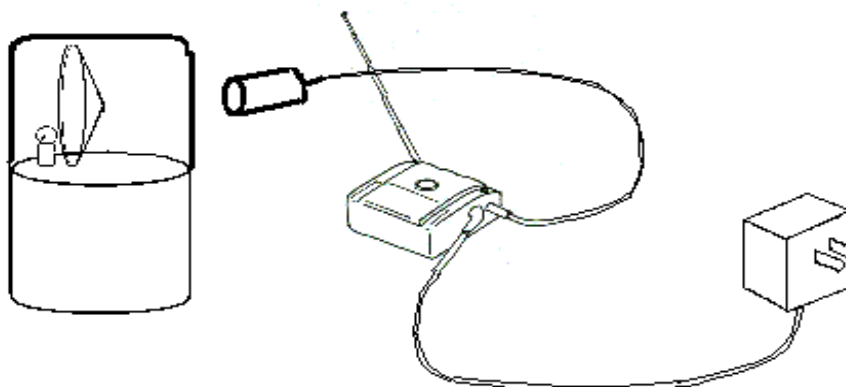
平型マイクのコードは束ねないで下さい。

誤作動の原因になります。

回点灯フラッシュなど光の出る場合の場合 —— 【メモリ目安:時間 8、音量 7~8】

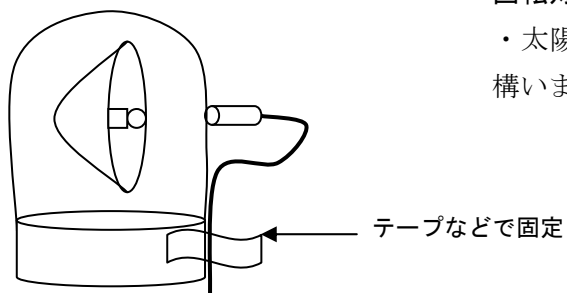
手順 1 光センサーを太陽光等他の光源の向きに注意して取り付けます。

手順 2 外部入力用のプラグを送信器に差し込み、入力感度の調整を行います。



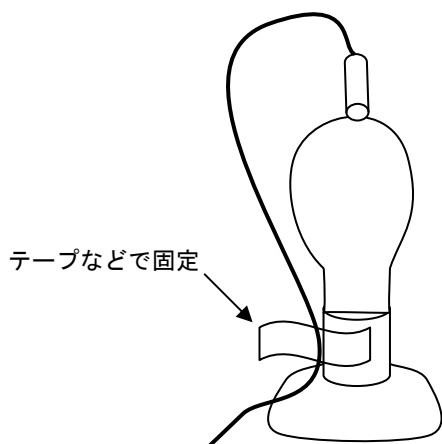
回転灯など

- ・太陽光などに背を向ければ横付けでも構いません。



白熱球の場合

- ・太陽光または蛍光灯に背を向けるように設置してください。
- ・光センサーは筒の奥にありますので、よほど強い光が近くで光らない限り誤作動はありません。
- ※電球切れの場合は作動しません。電球の交換後に光センサーを元の位置に戻すようお客様に説明してください。



3-3-2 [FAX用送信機《ファックス》]

本送信器は一般の電話回線⁹を使用している電話機・ファクシミリに接続します。受信感知は、音声ではなく回線から呼出信号を検出しておりますので、音声による誤作動の心配はございません。

ベルフラッシャーはアナログ電話信号用に設計された製品ですので、ISDN・ADSL・TFFH にもご利用いただける場合もございますが、ターミナルアダプターのアナログポートに接続していただいた際に、その電圧値がNTTのアナログ電話信号と同等の48Vが必要になります。万が一ベルフラッシャーが正常に動作しない場合は平型マイクロフォンで着信音を感知させて動作させることが可能ですのでご相談下さい。

入っているもの

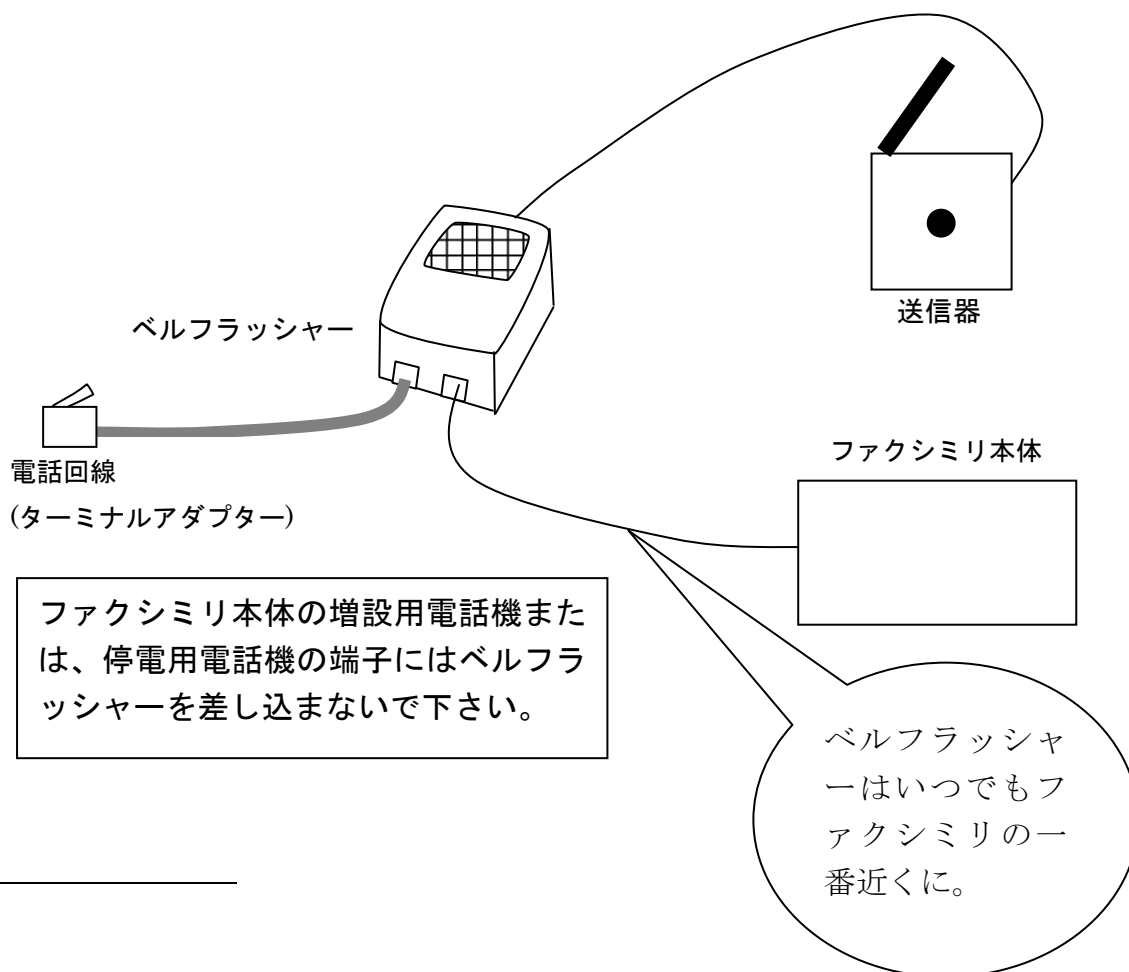
FAX用送信器本体・ACアダプター・モジュラーコード・ベルフラッシャー

8より小さくしないで下さい。

設置方法

【メモリ目安:時間8~9、音量5~7】

下図のようにベルフラッシャーとファックス用光りセンサーを組み立てた上、接続して調節ツマミをあわせてください。機種によって多少ずれがありますので、設置後必ず動作テストを行って下さい。



3-3-3 [赤ちゃん用音声送信器 《コール》]

専用マイクで赤ちゃんの泣声を感知します。

入っているもの

コール用送信器本体・ACアダプター・ピンマイク・両面テープ

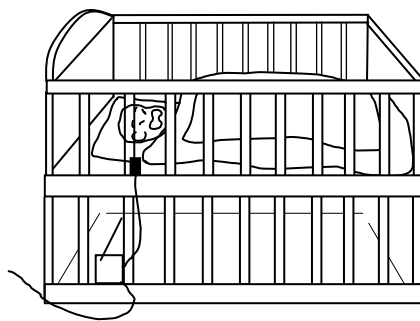
設置方法

【メモリ目安:7~9】

- | | |
|------|------------------------------------|
| 手順 1 | ピンマイクを赤ちゃんの近くに設置します。 ¹⁰ |
| 手順 2 | 《送信器設置時の基本手順》に従い、正しく設置してください。 |
| 手順 3 | 調節つまみを設定して下さい。 ¹¹ |

赤ちゃん(泣声)用の音量調節つまみと時間調節つまみの合わせ方

赤ちゃんが泣く時は、かなり長い時間大きな声を出し続けますので、時間調節つまみは“7~9”に設定します。危険防止の為ある程度マイクを赤ちゃんから離してください。その為、音量の感度は“7~9”にしてください。



¹⁰危険防止の為、マイクやコードは赤ちゃんに近づけ過ぎないようにご注意ください。マイクを多少離れた場所に設置する為、入力感度を良くしますので誤作動が起きる可能性があります。ご使用中は出来る限り周囲の雑音を排除するように心がけて下さい。また、使用していない時は送信器の電源スイッチを“OFF”にしてください。

¹¹調節つまみや時間調節つまみの数値はあくまで目安です。

3-3-4 [携帯電話用送信機《ケイタイ》]

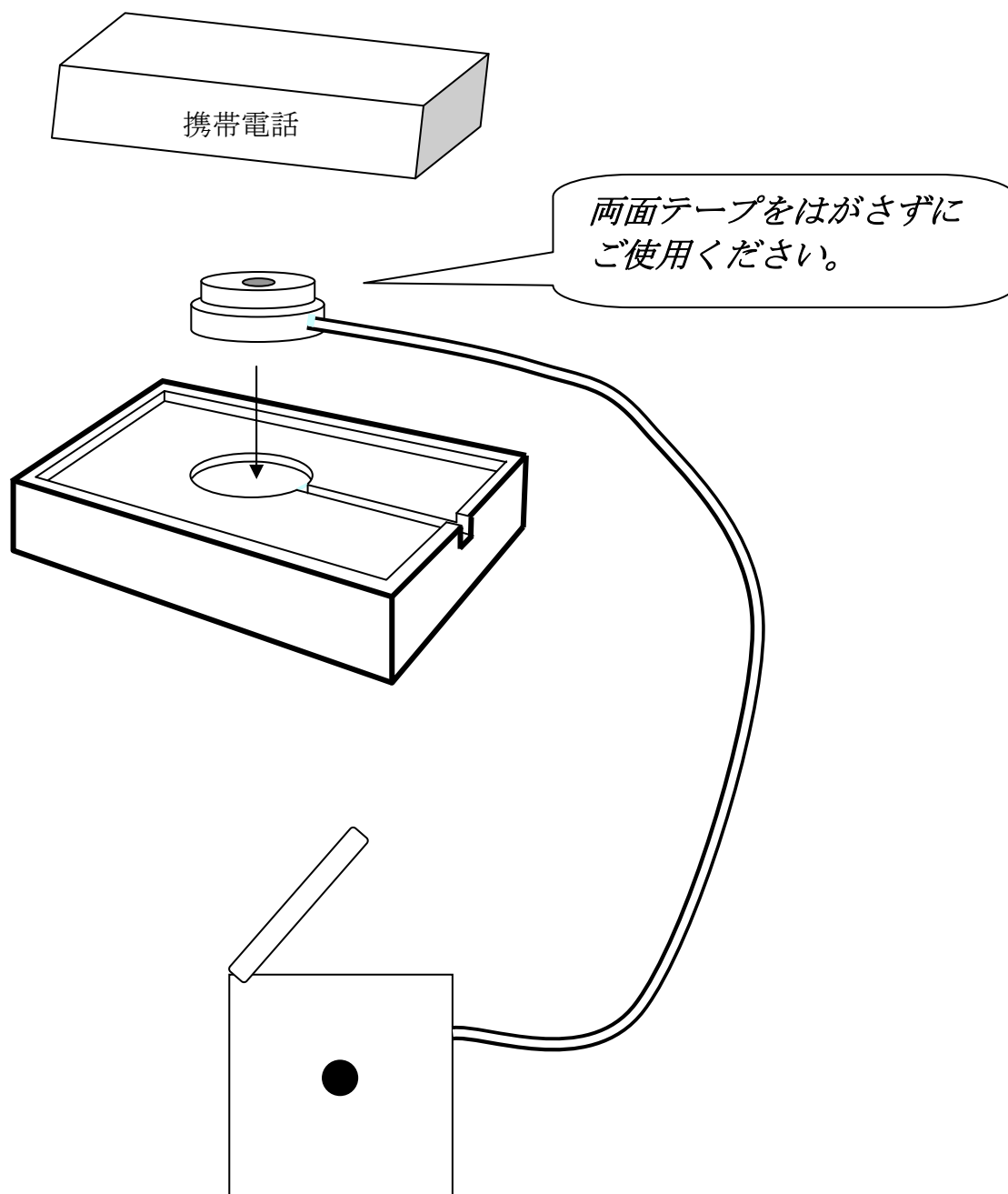
入っているもの

携帯電話用送信器・ACアダプター・平型マイク・専用マット

設置方法

【数字の目安:時間 5、音量 5】

置き台に平型マイクを図のような向きでしっかりはめ込んでマットにセットします。
数値をあわせ、携帯電話を必ず振動するモードに設定し上に乗せます。
メールなどの着信があると携帯電話の振動を感知して受信器にお知らせします。
機種によって振動の強さが違いますので、必ず動作確認をしてください。



3-3-5 [防犯警報用送信機《ケイホウ》]

ドアや窓の開閉を感知し、異変を知らせます。

重要 本送信器からの信号を受信すると、TIME ボタンを2~3秒押し続けリセットするまで“振動”と“表示”が繰り返されます。

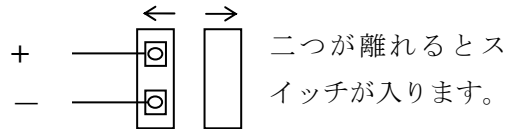
入っているもの

警報用送信器本体・ACアダプター・配線コード・磁石スイッチ・両面テープ

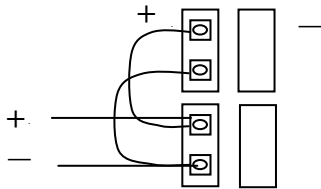
設置方法

【メモリ目安：時間8~9、音量8~9】

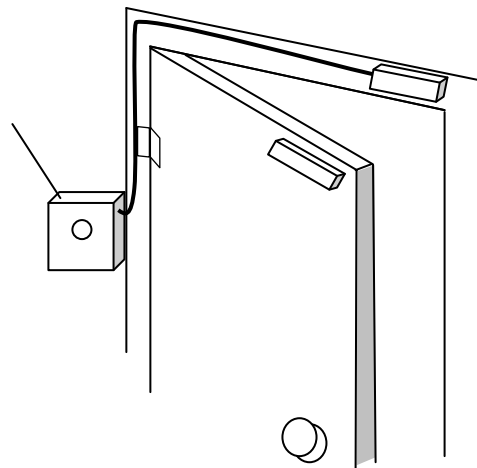
- 手順1 磁石スイッチを設置する場所を決めます。
- 手順2 磁石スイッチに専用配線コードを接続します。
- 手順3 磁石スイッチの取付説明書に従い、正しく設置してください。
- 手順4 《送信器設置時の基本手順》に従い、正しく設置してください。
- 手順5 調節ツマミを設定して下さい。¹²



ひとつの送信器に複数の磁石スイッチを連動することも可能です。その場合は下図のように接続してください。※配線が長くなりすぎると入力信号を感知できない場合があります。その場合は送信器を増やすか、配線を入力信号が感知できる長さまで短縮してください。



複数のスイッチのうちいずれか1つが離れると作動します。

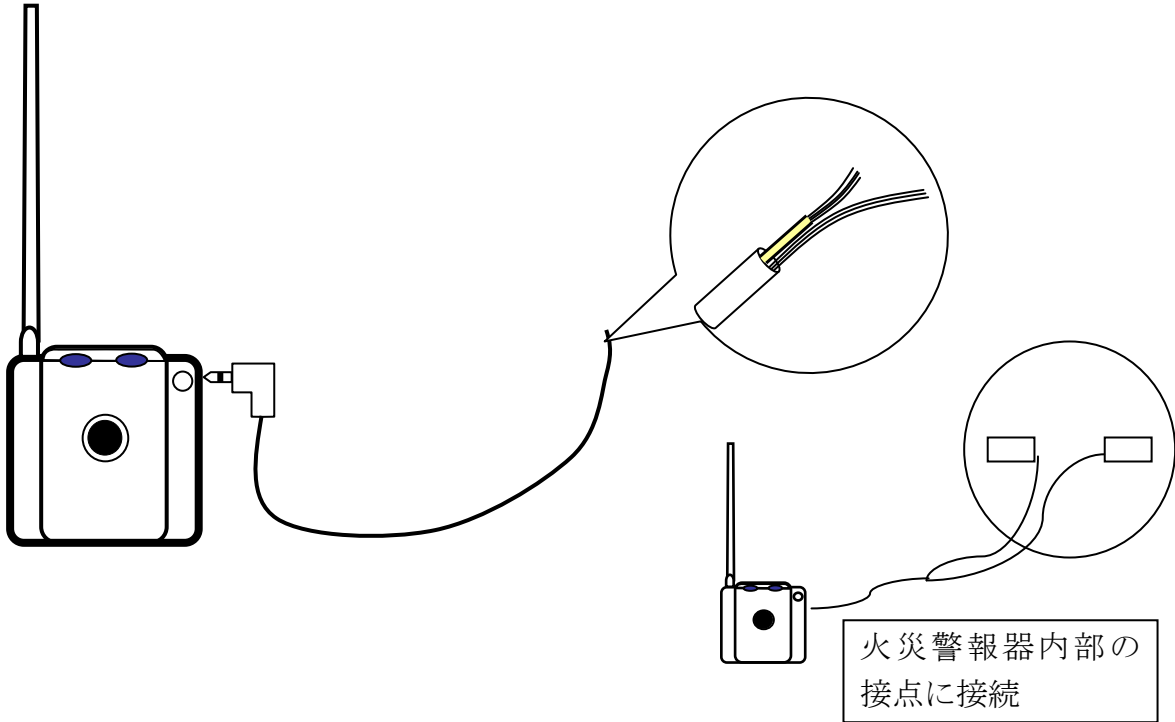


¹² 磁石スイッチが離れたときに反応しない場合は、調節ツマミの感度を若干上げてください。

[送信器接点入力について]

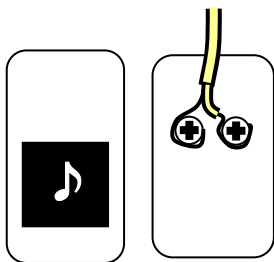
【数字の目安：時間 7~9、音量 7~9】

送信器は専用コードにより、各種機器からの a 接点入力が可能です。

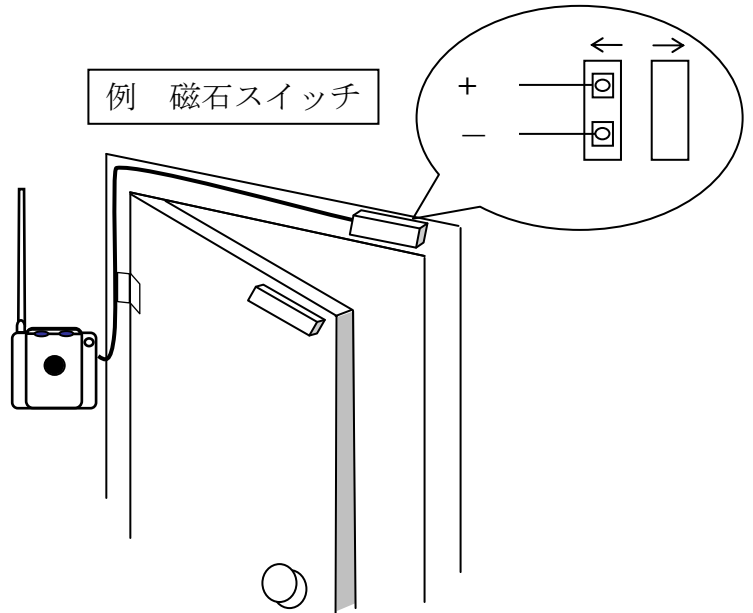


市販のスイッチ類の接点に接続

例 チャイム



例 磁石スイッチ



4 その他の製品について

火災警報器シルタンちゃん

電池を接続し、設置するだけで作動時にシルオッチ受信器に信号を送ります。
受信した受信器はケイホウと表示し、TIME を長押しして止めるまで振動と表示を繰り返します。

設置方法・場所は箱内部の取り付け説明書をよくお読みください。
まず第一に寝室にお取付けください。

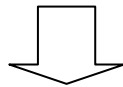
自動消火器 ボンペット

台所のガス台の上部、電子レンジ・オーブンなど火の元の集中している場所の天井近くには取り
付けます。
投てき消火もできます。

故障かなと思ったら

チャイムやファックスなどが動作しても受信器が動作しない場合

1. 送信器のコール用ボタンを押して、LEDが点滅しますか？両方の調節ツマミをそれぞれ『9』に設定してください。
2. ACアダプターがしっかり差し込まれていますか？電源スイッチがONになっていますか？
3. 外部入力端子、端末の接続部がしっかりと接続されていますか？
4. 受信器の電池を新しいものに交換してみてください。



正常に動作しましたら、各調節ツマミを再調整してください。
それでも動作しない場合は、下記までご連絡ください。

受信器が表示は出るが、振動しない場合

新しい電池に交換してください。

初めて送信器に電源を通して使用したとき、正常に動作(送信)しない場合

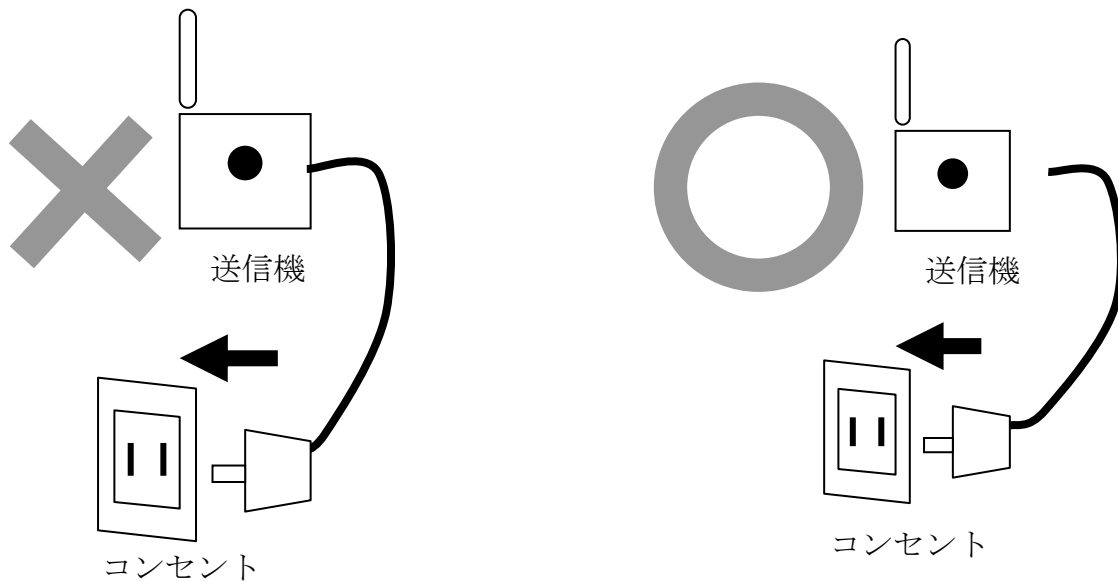
電源スイッチをOFFにして、10秒後に再度ONにして試してください。
ON/OFFを数回間隔を10秒ほど開けて繰り返して試してください。
それでも動作しない場合は、下記までご連絡ください。

株式会社 東京信友	
160-0022	
東京都新宿区新宿 1-14-5 新宿KMビル	
TEL	03-3358-8000
FAX	03-3358-6330
E-mail	info@shinyu.co.jp
お急ぎの方は、電話またはFAXでお願いします。	
<u>営業時間のご案内</u>	
平日（月～金）	9：00～17：00
定休日	土日祭日

ご注意

○ACアダプターの特性上、送信器につなげたままコンセントを入れると壊れる可能性があります。

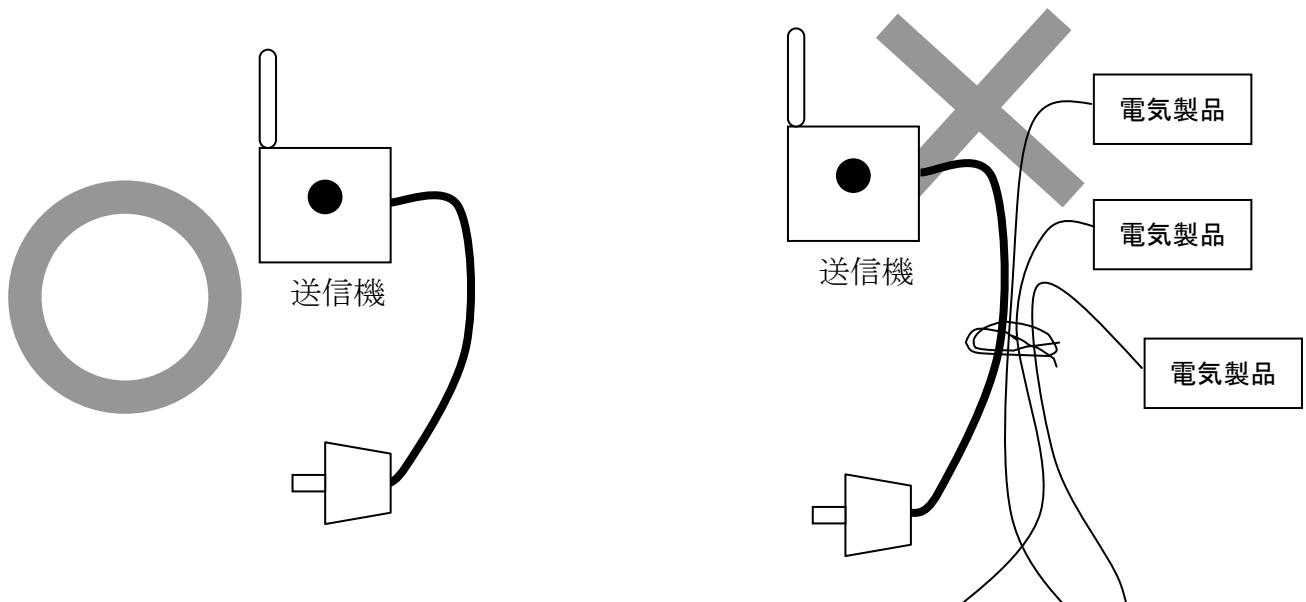
コンセントを入れるときは、送信器から線をはずしてから入れてください。



○送信機、マイク、その他付属品はコンセントのすぐ近くに設置しないで下さい。

○送信機の電源コードは他の電気製品と別のコンセントをお使いください。

他の電気製品のコードと束ねたりしないで下さい。誤作動の原因となることがあります。



初めて送信器に電源を通して使用したとき、正常に動作(送信)しない場合は電源スイッチをOFFにして、10秒後に再度ONにして試してください。ON/OFFを数度繰り返して試してください。ただし、ガチャガチャと頻りにスイッチを動かさないようにしてください。